



▲呼吸が止まっている負傷者には心肺蘇生を



▲三角きんで応急手当て



▲負傷者を救助し、安全な場所まで搬送



▲チェーンソーやのこぎりで倒壊家屋の出入り口を確保

家族で話し合ってみましょう

- 一人ひとりの役割分担を決めておきましょう
 (初期消火活動をするのは誰か？
 火の元の確認をするのは誰か？
 非常持ち出し品を運び出すのは誰か？など)
- 家族が離れている時に災害が起きた場合の連絡方法や集合場所を決めておきましょう
- 家族みんなで避難場所を確認しておきましょう
- 日常の火災予防について点検をしましょう
- 非常持ち出し袋を準備しておきましょう

非常持ち出し袋の中身は…？

- 安全具（ヘルメットなど）
- 水（1人1日3リットル）
- 救急セット（傷薬、包帯、ばんそうこうなど）
- 食料品（乾パン、缶詰、インスタント食品など）
- 貴重品（現金、預金通帳、印鑑など）
- 衣類（下着、タオル、軍手など）
- その他（懐中電灯、ひも、マッチ、ビニール袋など必要なものは用意しておきましょう）



※自宅にあるものをバッグに詰めておくだけでも、非常用として役に立ちます

私たちができること

いいですね」と話していただきました。日ごろからの地域のコミュニティアクションが、自主防災組織の活動を円滑にするとともに、災害時の不安を和らげる大きな助けとなります。

残念ながら私たちは自然災害の発生を防ぐことができません。しかし、いざという時に慌てず、冷静に行動し、少しでも被害を少なくするためには、私たち一人ひとりが日

ごろから災害に対する意識を持つことが大切です。

地域の防災活動に積極的に参加することで、防災に対する知識を高めることはもちろん、地域の信頼関係を深めることができます。また、家族で防災について話し合ったり、家の周辺に危険な所がないかを確認したりと、普段から実行できることもあります。皆さんも、あらためて防災対策について考えてみませんか？

お気軽にご相談を

区役所・消防署では、地域の防災活動に対してさまざまな支援を行っています。お気軽にご相談ください。

- 自主防災組織の結成・運営に関すること
 - 防災資機材の助成
 - 防災リーダー研修会
 - 防災訓練に関すること
- 南区総務企画課庶務係
 ☎(582)2400 内線214
 南消防署 ☎(581)2100



▲食料班は乾パンや缶詰など非常食の準備・配給



▲いざという時は、簡易トイレも必需品です



▲救援物資班が避難者へランプや毛布の支給

